

タイトル Extraordinary space

タイプ 持家共同建
構造 鉄骨鉄筋コンクリート造

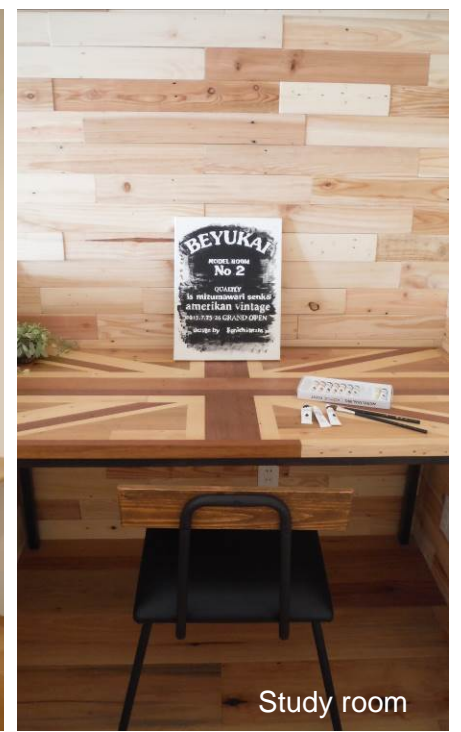
講評 3LDKの空間を思い切ってワンルームとすることで、伸びやかな空間が創出されている。こだわりの感じられるインテリアとゾーニングにより、日常的に使いやすく、非日常空間として演出可能な住まいとなっている。

リフォーム・リノベーション前後の写真



Kitchen からの様子

After LDK 全景 ガラス入りの間仕切りを使用



Powder room

Study room



Before
・キッチン
・スケルトン風景



廊下を照らす照明



kitchen

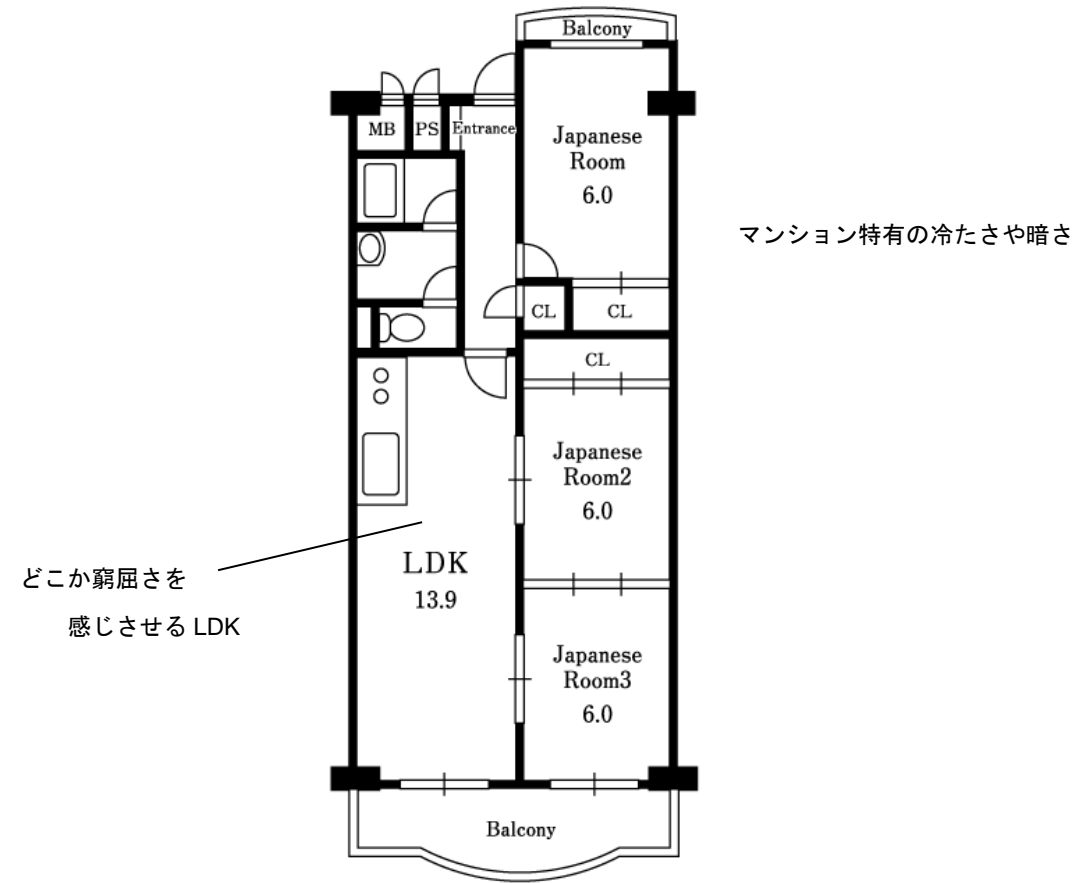


寝室から見る kitchen

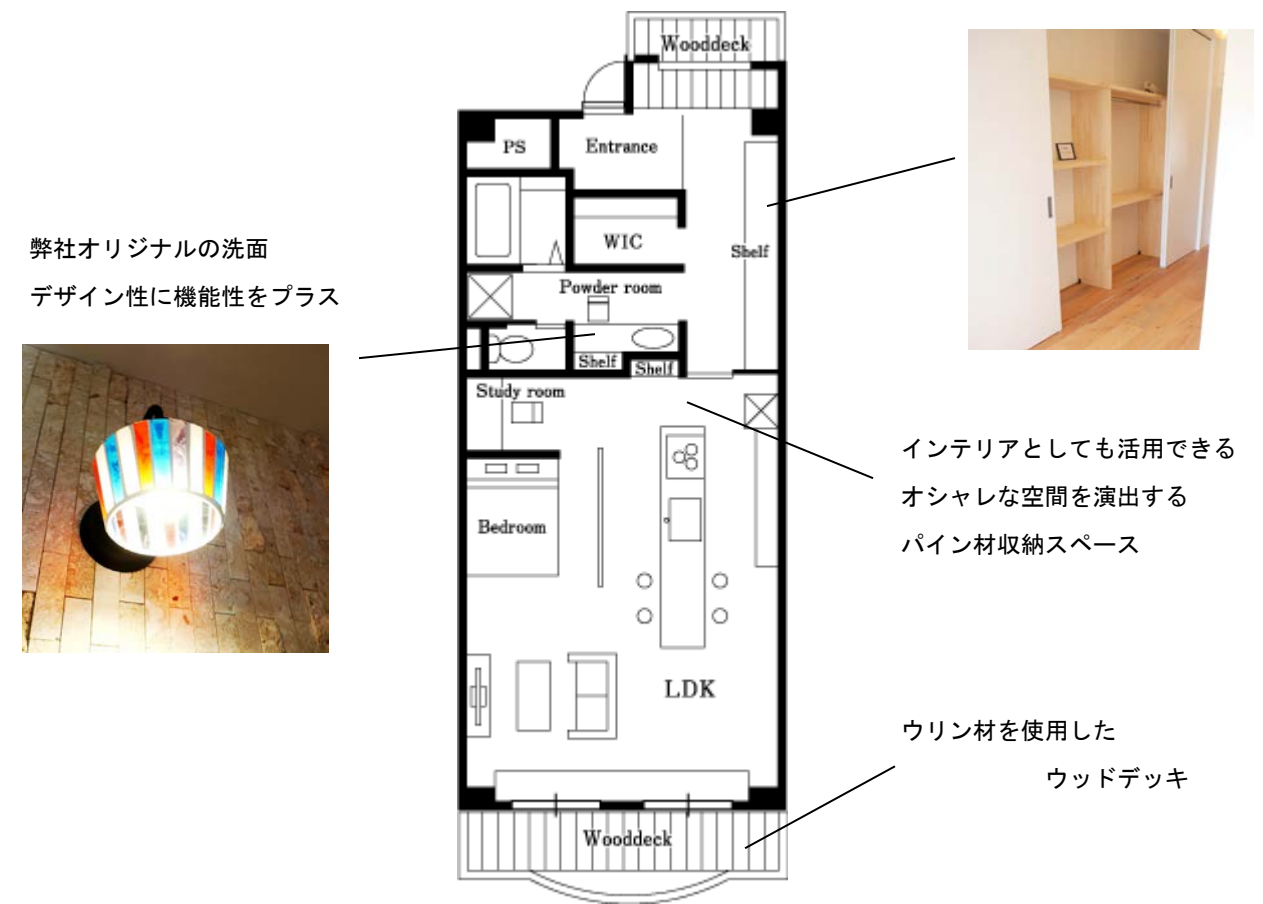


部屋に入ると見えるインテリア収納

リフォーム・リノベーション前（平面図（必須）、その他従前の特徴を表す図面等）



リフォーム・リノベーション後（平面図（必須）、展開図などデザインの特徴を表している図面等）



提案された住まい方やまちへの貢献に関するデザイン上の工夫など

今日の多様化する建築インテリアデザインに合わせ、コラボや組み合わせに重点をおいた空間にしました。マンション特有の間取りを取り払い、広いリビングを実現。さらに天井を解体して天井高さをあげ、開放感のある生活スペースとしました。天井は電気系統の配管をむき出しにすることで、デザイナーズカフェスタイルを実現させました。キッチンを中心にリビングを取り囲むことができるため、お互いのコミュニケーションが取りやすく、人の存在をいつも感じることでできる温かい住まいとしました。

フローリングには足に負担のかからないよう、衝撃に対する抵抗の大きいヒッコリー材という木材を使用しました。棚は敢えて扉を付けず、見せる収納とし、現在のインテリア文化を意識したデザインとしました。

デザインに反映した居住者（住まい手）のニーズ

社会に旅立ち、子供のいなくなった住まいを友人など、大人数招くことのできる広い空間にしたいという要望を反映させ、1つのLDKを提案しました。友人や親戚を呼び、パーティーを開けるような元あった仕切りをすべて取り、リビング空間を1つにしました。

居住者（住まい手）の感想

マンションの床を上げることで足元の底冷えが少なくなりました。また2つの部屋とLDKをつなげることで、開放感が増し、居住空間が1つになり、相手の存在が以前より身近に感じるようになりました。

データ

○所在地 ○築後年数 年 ○工事費 万円 ○工事期間 日間 ○設計会社 / 担当者

○用途地域 ○敷地面積 m² ○建築面積 m² ○リフォーム部分面積 m² ○施工会社 / 担当者

○居住者構成 総人数 人 / うち 15 歳未満 人 / うち 65 歳以上 人 / ペット

単独 夫婦のみ 夫婦+子 親+夫婦+子 (三世代) ひとり親+子

その他の親族 (親族関係者のみ) 親族以外 (シェア居住の場合など) その他

○性能向上の特性 耐震性能 高齢者等への配慮 (バリアフリー) 省エネルギー対策

防犯性能 維持管理対策 室内空気環境 その他 ()



タイトル